

序

近年のグローバル化に伴い、個々の国だけでは解決できない諸問題が次々に発生しています。このような問題を解決するためには、世界の国々が協力して対処していく必要性がありますが、各国の協調関係の基礎となるのは、国と国、人と人との信頼関係です。このため、各国の相互理解の促進に資する国際交流の重要性は一層増していると言えるでしょう。とりわけ、若い世代における交流の経験は、とらわれのない心で様々な人と出会い、また、豊かな感性で異なる文化や考え方に直接触れて、思いがけない発見をする大変貴重な機会となります。

このような考え方に基づき、内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として、各種の青年国際交流事業を実施しています。

このうち国際青年育成交流事業は、昭和34年度に当時皇太子殿下であられた今上陛下の御成婚を記念して開始した青年海外派遣事業と、昭和37年度から行ってきた外国青年招へい事業を継承・発展させたもので、皇太子殿下の御成婚を記念して平成6年度から実施しています。そして、これまでに延べ3,568名の方が参加されました。

国際青年育成交流事業は、日本の青年を海外に派遣する青年海外派遣と、派遣国を含む諸外国の青年を我が国に招へいする外国青年招へいによって構成されています。どちらのプログラムでも、教育・環境・文化等の課題別視察やホームステイなどに加え、国際協力活動現場の体験や意見交換、地元青年との合宿ディスカッションなど、日本青年と外国青年とが国を越えて話し合える場、ともに体験できる場を設けています。これらの交流は、日本青年にとって、国際的に通用する考え方はどのようなものかを知り、国際的な対応力を身に付ける効果的な良い機会となっており、今後も、世界を舞台に活躍できる日本青年を更に育成するため、事業の活性化を図っていきたくと考えています。

本書は、平成28年度に実施した第23回国際青年育成交流事業のうち、外国青年招へいプログラムの諸活動を記録したものです。本書を通じて、国際青年育成交流事業の成果を御理解いただくとともに、一層の御支援をいただければ幸いです。

また、この事業に参加した青年が事業終了後においても、事業で得た知識や経験、事業を通じて培ったネットワークをいかし、国際交流活動や社会活動に取り組むことは意義深いことであり、内閣府としても、こうした活動を積極的に支援しております。これら参加青年が社会においてますます重要な役割を果たすことを願ってやみません。

終わりに、本事業の実施に当たり、御協力をいただいた関係各国の政府、関係団体、訪問施設等を始め、外務省、地方公共団体、国際協力機構などの関係各位、そして何より、青年たちを温かく迎えてくださったホストファミリーの皆様にご心から御礼申し上げます。

平成29年3月
内閣府青年国際交流担当室長
和田 昭夫